

企業の社会的責任

富士電機グループは、「社会の一員である企業は、人と環境にやさしい存在でなければならない」という基本的な考えのもとCSR経営に取り組んでいます。「エネルギー・環境」事業の成長を通じ、調和の取れたより豊かで快適な社会の実現を目指します。

CSRの基本的な考え方

富士電機グループは、「地球社会の良き企業市民として、地域、顧客、パートナーとの信頼関係を深め、誠実にその使命を果たします」という経営理念のもと、創業以来の伝統である『確かなものづくり』と『誠実で勤勉な姿勢』を大切に継承しながら、企業の社会的責任(CSR)を全うすることに努めてきました。

温暖化・気候変動などをはじめとする地球環境問題は、人類の未来を左右する重要な課題です。この課題解決に寄与することは「人と環境にやさしい存在」を目指す富士電機グループにとって、最優先すべき社会的責任と考えています。

富士電機グループは、これらの課題解決に貢献する「エネルギー・環境」分野のビジネスをグローバルに展開するとともに、工場・事業所の環境負荷低減や環境負荷の少ない製品(グリーンプロダクト)づくりに取り組み、あらゆる行動のベースとなるコンプライアンスを最優先させることでCSR経営を強化し、社会に対して一層大きな責任を果たしていきます。

2010年9月に、富士電機グループの役員、社員全員の規範である「企業行動憲章」をCSRの観点から発展的に改定し、新たに「企業行動基準」を策定しました。今後、この行動基準のもとで会社と従業員が価値観を共有し、全員が一丸となって企業価値向上に努め、社会から信頼され、尊敬される企業グループとなることを目指します。

経営理念

基本理念

富士電機グループは、地球社会の良き企業市民として、地域、顧客、パートナーとの信頼関係を深め、誠実にその使命を果たします

- 豊かさへの貢献
- 創造への挑戦
- 自然との調和

グループスローガン

熱く、高く、そして優しく

経営方針

1. グローバルな視点で、現地完結型の事業運営を促進し、『日本の富士電機』から『世界の富士電機』を目指します。
2. エネルギー・環境事業を中核として、企業の拡大発展を図ります。
3. 社員の意欲を尊重し、多様な人材がチームとして力を発揮できる組織運営を行います。

「富士電機グループ企業行動基準」

私たち富士電機グループとその社員は、経営理念に掲げる「地球社会の良き企業市民として、地域、顧客、パートナーとの信頼関係を深め、誠実にその使命を果たす」ために、「グローバル」な視点から、

1. お客様を大切にします。
2. 人を大切にします。
3. 地球環境を大切にします。
4. 株主・投資家を大切にします。
5. 社会との交流を大切にします。
6. グローバル・コンプライアンスを最優先します。

外部からの評価

CSRへの取り組みが評価され、当社は「ダウジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」と「モーニングスター社会的責任投資株価指数」という2つの代表的なSRI株価指数に組み入れられています。



CSRレポート

具体的な取り組みはCSRレポートをご覧ください。CSRレポートでの報告に当たっては、ステークホルダーの皆様からのアンケートにおいて、多くの関心が寄せられ、当社にとっても重要性の高いテーマである「環境ビジョン2020」達成に向けた取り組みについて、「特集」で詳しく報告しています。

さらに、「社会報告」「環境報告」「マネジメント体制」の各章の冒頭においても重要テーマを報告しています。

また、2010年2月に参加署名した国連グローバル・コンパクトの掲げる10原則に関して、できる限り10原則にかかわる取り組みを掲載しました。



CSRレポート2010

グループCSR推進室長メッセージ



エグゼクティブオフィサー
グループCSR推進室長
石原 敏彦

富士電機グループは、「社会の一員である企業は、人と環境にやさしい存在でなければならない」との基本的な考えのもと、CSR経営の実現に取り組んできました。2010年2月、中期経営計画を策定し、今後ともこの基本となる考え方をベースに「エネルギー・環境」事業の成長を通して、調和の取れたより豊かで快適な社会の実現を目指しています。

「エネルギー・環境」分野でグローバル社会に貢献

中国やアジア、米国をはじめとして、今後、世界各国でエネルギー・環境投資が活発となることが見込まれ、富士電機が得意とする、電気を自在に操るパワーエレクトロニクス技術により、当社グループの製品・サービスが、グローバル市場においても貢献できるものと考えています。「エネルギー・環境」事業をコアに「事業を通じてグローバル社会に貢献する企業」として企業価値の最大化とCSR経営の実現を図ってまいります。

国連グローバル・コンパクトへの参加

当社グループは、これまで以上にグローバル企業として責任ある経営を推進し、持続可能な社会づくりを目指しています。国連が提唱するグローバル・コンパクトは、「人権保護」「不当な労働の排除」「環境への対応」「腐敗防止」にかかわる10原則を掲げ、いずれも当社グループの重点活動方針に合致するものであることから、グローバル・コンパクトへの参加を表明し、2010年2月19日、正式加盟いたしました。これを機に、これまで以上にグローバル企業として責任ある経営を推進し、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

生物多様性保全を目指した環境経営の推進

2010年10月に、名古屋市で第10回生物多様性条約締約国会議(COP10)が開催されることで、生物多様性への社会的関心が高まっています。私たちも昨年「環境ビジョン2020」を策定し、「2020年までに社会のCO₂排出量を240万トン削減する」ことを発表しました。私たちの省エネ、創エネ製品を通じて地球温暖化防止に貢献し、製品・サービスおよび社会活動の連携を通じて生物多様性保全を推進します。